

# HOT NEWS

## 雲仙復興事務所

平成27年2月3日

今年度最多！56名の海外視察団  
～雲仙生まれの土木技術で国際交流～

発信元

雲仙復興事務所

総務課 専門員 矢野 秀和

平成27年1月27日(火)、韓国の2大学から30名の大学生と同国の江原道(日本の県に該当)から行政職員等26名の計56名が、雲仙復興事務所の砂防事業を視察しました。

本視察は、長崎大学大学院が実施する「エネルギー・環境工学分野のグローバル人材育成のための国際学生交流プログラム」及び優れた先進事例の行政施策への活用を目指す「山林分野政策研修」の一環として行われたものです。

今年度も海外から多数の視察が訪れておりますが、海外からの1日あたり視察人数としては今回が最大となります。(なお、日本人の視察も加えると、今年度最多は1日あたり484人となります)。

2月にはJICA(国際協力機構)の研修も予定されており、今後も職員一丸となり火山災害や土砂災害への国際的な人材育成の取り組みを支えていきます。

午前の部 (大学生30名)



無人化施工操作室

午後の部 (行政職員等26名)



パネル説明



旧大野木場小学校被災校舎



大野木場監視所